

羅針盤

情報セキュリティに対する意識の向上を目指しましょう



国内の学校園・教育機関で起こる情報セキュリティ事故の割合は、次の中でどれくらいでしょうか？

- (1) 2～3日に1件
- (2) 1週間に1件
- (3) 1か月に1件

平成 21～24 年度の平均が 2.3 日/件^{*1}なので、正解は(1)となります。

今年度も、平成 26 年 1 月末現在で 138 件^{*2}の事故が発生していますが、これらの事故の原因を種類別に分類したものが、右の図です。

最も割合が高かったのは「紛失・置忘れ」の 62%ですが、これに「設定ミス」「誤廃棄」「誤操作・送信」等を合わせると、およそ 8 割が情報扱う個人の過失ということになります。

教育の情報化に関する手引(文部科学省)にも「情報漏えいの原因は人的要因が大きな割合を占めている」と記述されているように、情報セキュリティ事故を未然に防ぐためには、一人一人の意識向上を促すことが重要であると考えられます。

*1～*3 : ISEN(教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会)公表の数値を集計

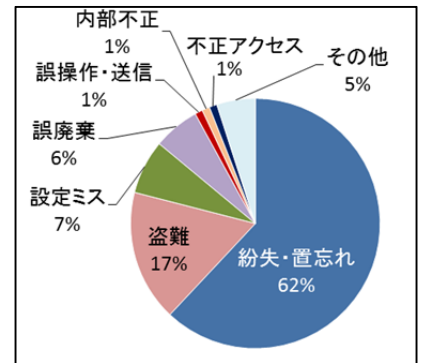


図 平成 25 年度 事故の種類別発生割合^{*3}

そこで、実際に発生した情報セキュリティ事故の事例を基に、どのような点を意識すべきかを確認してみます。

2013 年 ① 3 月 9 日 〇〇 県の市立中学校で、パソコンの紛失による 276 件の個人情報の漏えいがあったことがわかった。教諭が授業のために ② 教室に持ち込んでいた私物のパソコンが、数日後になくなったという。紛失したパソコンには、教諭がこれまでに市内 3 校で担当した ③ 生徒の氏名や保護者の氏名、住所、電話番号のほか、通知表で使用するための名簿や生徒の評定、生活態度などを書いた文書などが保存されていたという。市教委の規定では、私用のパソコンへ生徒の個人情報を保存することは禁止している。

学校情報セキュリティお役立ち Web「今日もワンステップ!」より転載 <http://school-security.jp/>

【下線部①】 ご用心! 3月はセキュリティ事故が多くなる時期です

3月は進級や進学に伴い、機密性の高い個人情報を扱うことが多く、いつも以上に慎重に行動することが求められます。また、人事異動で職場が変わる場合には、旧データを持ったまま異動することがないように、データの移動や消去を確実に行うようにしましょう。



【下線部②】 移動の際はカギを忘れずに!

私物パソコンの扱いは校内のルールに従うことは当然ですが、校務用パソコンをいつもの場所から一時的に移動させて使用する場合でも、セキュリティワイヤー等を取り付けるなどの防犯対策が必要です。



【下線部③】 校務用データはサーバーへ!

校務で使用するデータは、教職員個人のものではなく、公的なデータであるという意識をもつことが大切です。校務用データはサーバーに保存し、できるだけ個々のパソコンには保存しないようにしましょう。



プラス ワンポイント! 校内研修, いつやる? どうやる??

情報セキュリティに対する意識の向上のためには、年度当初や最初に成績処理を行うタイミングなど、セキュリティリスクが高まる時期に合わせて研修を行うのが効果的です。まとまった時間が取りにくい場合には、職員会議の後などに 20～30 分の短時間で進行するミニ研修を、数回に分けて実施するのも一つの方法です。

なお、県総合教育センターでは、ワークショップ形式で情報セキュリティに関するミニ研修ができる校内研修パッケージを以下の URL より配信していますので、研修の進め方の参考にしてみてください。

<http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/chousa/kiyou/h22/10-06pack/>

次回は 3 月 14 日(金)の発行予定です。

(担当・情報教育部)

【バックナンバー】 <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/sougou/koho/>